

黒石病院から

# 夜間救急外来

## 受診に関するお願い

黒石市でも新型インフルエンザが流行し始めています。それに伴い夜間にインフルエンザではないかと心配して救急外来を受診する方が激増し、救急外来本来の業務である重篤な患者さんの救命にも支障がでてきています。インフルエンザ自体は重症な疾患ではなく、夜間に緊急に診察を必要とするものではありません。但し、インフルエンザで重症な状態に移行する可能性もあるため、下記のような症状を有する患者さんが夜間に発生した際は、救急外来に相談することも必要かと考えます。しかし、発熱のみで下記のような症状を認めない方は、日中にかかりつけ医を受診し、夜間の当院救急外来受診は極力控えていただきますよう、ご協力の程よろしくお願いいたします。



## インフルエンザ感染者の急激な重症化サイン

(WHO抜粋一部改変)

1. 身体活動中あるいは休憩中の息切れ
2. 呼吸困難
3. 青ざめた顔[チアノーゼ]
4. 血痰
5. 胸部痛
6. 精神状態の悪化



全国的に医師や看護師が激務による疲弊から病院を辞める事例が多発し、医師が辞めた病院は閉院せざるを得ない状況になっています。黒石病院も決して例外ではありません。市民みんなで大切な医師や看護師が定着できる病院づくりにご協力ください。

